

第22回育成会文化祭り



22年目を迎えた育成会文化祭りが9月9日(土)に沖縄市民会館大ホールにて開催され、県内各地から25団体、450名の皆さんが舞台発表及び作品展示に参加されました。

公私ともに大変お忙しい中をご臨席いただきましたご来賓の皆様には、心からお礼を申し上げます。

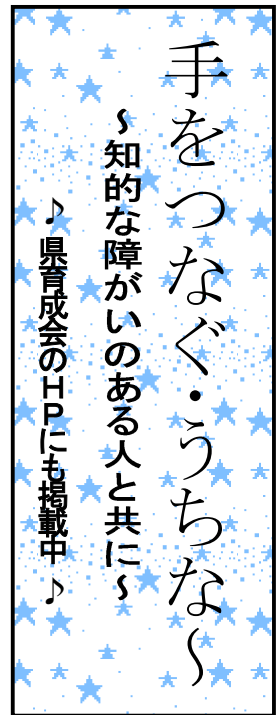
さて、辛く悲しい神奈川県相模原での事件から約1年過ぎ、多忙な毎日のくらしに追われているうちに事件は忘れ去られようとしているかもしれません。障がいのある無に係らず、生まれ育った地域で安心して生活が出来る共生社会の実現を望むためには、事件は決して風化させてはいけません。

次年度は総合福祉法の一部見直しや障害福祉サービス報酬の改正が行われますが、耳に届いてくるのは障がい当事者や家族に対する厳しい福祉政策ばかりのようです。

「障がいのある人やその家族が、自分たちの住んでいる地域で安心して暮らす」との願いは、私達保護者組織である沖縄県手をつなぐ育成会の最大の活動テーマであるために、障がいのある人の社会参加の機会を増やすために、共生社会の実現を目指す活動を強く推進していきます。

当文化祭りは、障がいのある人の社会参加と、仲間達や県民との相互交流を深める大きな育成会事業の一つであります。今年も日々練習を重ねた活動の成果や熱演を披露した大勢の参加者の笑顔で幕を閉じたことを報告します。

☆手をつなぐ、このぬくもりをわかちあおう☆
☆支え支えられ共に暮らせる地域社会を!☆



発行所
沖縄県手をつなぐ育成会
那覇市首里石嶺町4-373-1
沖縄県総合福祉センター内
TEL 098 - 882 -5727
FAX 098 - 882 -5720
E-mail: oki-iku@woody.ocn.ne.jp
HP: http://www.oki-iku.com/
発行人 理事長 田中 寛
定価 50円(会費を含む)

【目次】	
P1	第22回育成会文化祭り
P2	佐賀大会参加者感想文
P3	審査会・ゴルフ大会報告・理事通信
P4	理事長予定・ゆんたく広場他



第57回九州地区育成会佐賀大会感想



九州佐賀大会 第1分科会に参加して

北部心身障がい者親の会 田中 里英



第一分科会では「育つ」をテーマに人の方が発表されました。子ども達の育ちを見つめながら、支援者はどのようにに関わり、環境を備えて行けば良いのか、4つの観点から話し合いの場が持たれました。その中で、学校からは小中高における「つないで育てる」事例が紹介され、今後、事例をもとにした研修の場が必要であり(病状や診断名の一人歩きではなく)常に一人ひとりを丁寧に見ていき、社会自立を目指した支援をすることと働く人になれる力を身につけたいという思いを分かち合いました。また、支援する側の関わりとして「出来る人が」「出来ることを」「出来る時に」子どもが主役であることを支える支援者もまた楽しく関わることで、未永い活動につながることにありました。そのためにもネットワークが不可欠であり、いかに地域共生型サービスを整えていくかが大切であるということでした。さらに地域の中で生き生きと暮らすために熊本での育成会の取り組みが紹介されました。地域の中で本人が心豊かに輝く人生を送っていくには、こうした育成会の取り組みを欠かすことはできず、必要な人のためにしぶとく続けて行く事が大切とありました。最後にボランティアとの関わりでは、大学生や音楽療法士また療法師の卵にボランティアを依頼する事で、これから社会を担う彼らにとっても障がいについて理解が深まる上、分離での活動において必要となるサポートカードを記入する機会を保護者が持つことや託す練習にもなるということとで、ボランティアの存在もまた大切だと分かち合いました。研修で学んだことを持ち帰り、自分達に出来る事は何か、広くシェアしていきたいです。



九州佐賀大会 第3分科会に参加して

北部心身障がい者親の会 岡 江美子



「働く」をテーマにした分科会では、3組の発表がありました。学校卒業後、どの様に過ごすのか、とても重要な課題です。どんな事業所に通うにも、日ごろから規則正しい生活習慣を身につけておくことが、一番大切だと感じました。印象的だったのは、ひとり暮らしをしながら、近くの食堂で働く男性の事例です。彼は卒業後、グループホームで6年間過ごします。その間、身の周りの事を自分でできるようになり、ひとり暮らしが実現。職場でも、落ち着いて仕事をこなす様子がビデオで紹介されました。男性の支援者は、「本人の力を信じて、支援しすぎない」、「失敗するチャンスを取り上げず、その都度向き合う」ところが大切だと話しています。この事例から、ねばり強い支援が、本人の生きる力につながるのことが分かりました。この研修会に参加して、得た情報や教訓を自分も親として日々の生活に活かしていきたいと思えます。ありがとうございます。



九州佐賀大会 本人部会で発表して

おきなわ工房 源河 千佳



私はおきなわ工房の源河千佳です。初めて育成会の研修会に参加しました。私は第4分科会「本人部会」に参加しました。分科会には九州各県から200人の参加者がいて、20のグループにわかれていました。グループではゲームをしたり、好きなことや得意なことなどいろいろな話し合いをしました。みんな自分のことをしっかり話していたので、すごいなあと思いました。また、私は沖縄県の代表として、みんなの前で発表もしました。ほかの県の代表者の発表者の発表がすごく上手だったので、とても緊張しましたが、同じグループの人から優しい応援もあり最後までがんばることができました。発表の後にグループで特異な編み物も見せました。その時にみんなから「上手だね」と言われたことが1番嬉しかったです。有田焼工場ではマグカップの絵付け体験をしました。私は絵も得意なので、お花の絵をかきました。焼きあがって沖縄に届くの1か月かかると言われました。いっぱい考えてかいたお花の絵がどんなふうになっているかとても楽しみです。佐賀県大会はやっぱり緊張した研修会でした。だけど友達もたくさんできました。また行きたいと思いました。

平成29年度心の輪を広げる体験作文＆
障害者週間ポスター審査会

皆中部3 に合査文
今様学門名今渡797 福委平
後、生4、回り点名社員及成
のお部名中、審のセ会び29
ごめ門、学体査、審ンが一年
活で6ポ生験しポ査タ、障度
躍と名ス部作各ス員、9害一
をうでタ門文賞タに月者心
祈ごす、4小を、て20週の
念ざ。小名学決、開日間輪
致い22学、生定14、応催、ポを
しま名生高部し点募さ水ス広
ますの部校門ま、頂れ、タげ
す。入門生入しをいま沖いる
。賞5・賞た長たし縄、体
者名一者。時作た県の験
の、般は、間文。総審作

【審査委員】

- ・県教育庁県立学校教育課特別支援教育班

下地直子指導主事

・ 県精神保健福祉会連合会

山田圭吾会長

琉球大学

吉田悦治准教授

・県社会福祉協議会施設団体福祉部

新川伸一郎

・ 県身体障害者福祉協会

運天健事務局長

- ・ 沖縄県障害福祉課

與那嶺武課長

・ 県育成会

田中寛理事長

★投稿募集★

「私の声を届けます」 コーナーでは

記事投稿の募集を随時行っています。

知的障がいのあるご本人様の日頃の想い・活動

お問い合わせは県育成会までお願いします。



29年度チャリティ
ゴルフ大会

西原町の沖繩カントリークラ
ブにて、好天の9月8日（金）、
「平成29年度沖繩県手をつなぐ
育成会運営資金チャリティーゴ
ルフ大会」が開催されました。
当日は、約150名の皆様に
参加いただき、また多額のご寄
付・賞品のご寄贈をいただきこ
とができました。
資金不足で心もとない運営の
中で、温かいご支援をいただき
心より感謝し、この資金は大切
に有効活用させていただきます。
有難うございました。



写真右：監事 外間哲雄さん
写真左：理事 桑江澄子さん



理事通信

― チャリティ―ゴルフ大会 ―



東
宏明
理事

チャリティーゴルフ大会、
景品提供・ご寄付、ご参加
ありがとうございました。

恒例となりました県育成

ゴルフ大会は、去った9月8日(金)、西原町の沖繩カントリーゴルフクラブの協賛を得て、成大に開催いたしました。当日は晴天でゴルフ日和でございました。午前7時からプレイがスタートし、午後6時半ごろプレイが終了いたしました。参加者は本島北部・中部・南部のゴルフ愛好者、育成会の関係者、150名近くの参加がありました。ワンオンコンテストが行われた名物の池越、6番ホールでは115名がチャレンジし、三升ガミをゲットしたのは、早朝にスタートした宜野湾市中のゴルフ歴3年の親富祖さんでした。景品のガミの古酒は、ゴルフ仲間と楽しく呑むとのことでした。造成した資金は後日、知念チャリティゴルフ実行委員長より県育成会に寄付されます。実行委員会の皆様お疲れ様でした。終わりにたくさんの方の景品を提供していただきました、企業の皆様、またご寄付いただきました団体・個人の皆様、本当にありがとうございます。来年も開催いたします。ご協力よろしくお願い申し上げます。

理事長行事報告 9月

- ★9月8日(金) 育成会チャリティゴルフ
- ★9月9日(土) 育成会文化祭り
- ★9月14日(木) 15日(金) 東京都全国事業所委員会
- ★9月16日(土) 嘉手納スペシャルオリンピック
- ★9月21日(木) 県施策推進委員会
- ★9月22日(金) 県スポーツ推進委員会
- ★9月23日(土) 24日(日) 北海道全国育成会北海道大会(札幌)

理事長行事予定 10月・11月

- ★県外
- ★10月26日(木) 27日(火) 愛媛県全国障害者スポーツ大会
- ★11月19日(日) 東京都日本体育協会スポーツ指導員研修
- ★県内
- ★10月14日(土) 名護学院保護者会研修
- ★10月14日(土) 15日(日) 沖縄市福祉祭り
- ★10月16日(月) 沖縄県虐待防止・権利擁護指導者研修
- ★10月19日(木) 全国政策センター委員会
- ★11月5日 沖縄市育成会 保護者会研修
- ★11月7日(火) 内閣府バリアフリー会議
- ★11月9日(木) 歯科SUN会議
- ★11月11日(土) 日本障がい者スポーツ協会研修
- ★11月25日(土) ゆうあいスポーツ大会

『手をつなぐ・うちな〜』編集者
理事長: 田中 寛
事務局: 高原 奈々・赤嶺 優香

田中理事長のゆんたく広場

栃木県の知的障害者支援施設内での複数職員による虐待事件調査の中で、元栃木県警OB職員が内部調査の証拠を隠滅していたとされる報道がありました。厚生労働省の27年度の施設内における障がい者虐待対応状況調査によると、被害者の83%が知的障がい者であり、そのうちの70%が障害支援区分のある、より支援を必要とされる人という事です。閉ざされた場所での虐待は悪質な犯罪ですが、それを組織で隠ぺいしようとする行為に対しては、重罰を持つて対処する必要があります。沖縄県より委託を受けて、県育成会が開催する「沖縄県障害者虐待防止・権利擁護研修」の意義と重要性を改めて痛感します。

募集配布

機関誌「手をつなぐ」は、中央情勢・各地育成会の活動、また特集コーナーで、教育・福祉・就労・医療等の最新の情報がわかりやすく掲載されています。
お申込みご希望の方は、県育成会まで一度ご連絡下さい。
*年間購読料 3,900円

『手をつなぐ』



沖縄県手をつなぐ育成会では専用ホームページを開設しております。
最新の情報や、活動報告、広報誌のカラー紙面もご覧頂けます。是非アクセスしてみてくださいね!!
育成会HP: www.oki-iku.com

予約受付中



価格: 税込1,300円
(郵送料振込手数料は実費となります)

「あたらしいほうりつの本」は障害のある人が地域で暮らしていくために必要なサービスを、できるだけ分かりやすく紹介した書籍です。購入ご希望の方は県育成会までご連絡下さい。



書籍販売のご案内

※未掲載の方は第156号にてご紹介致します。

個人 宮城 秀子
団体 かしりくらぶ



29年度賛助会員

敬称略



賛助会員

加入のお願い

平成29年度のスタートを切り、事業が開始しております。
昨年同様、沖縄県手をつなぐ育成会へのかわらぬご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

☆☆ 賛助会員の趣旨 ☆☆☆

沖縄県手をつなぐ育成会は、知的に障がいのある子を持つ親等を中心に結成され、「知的障がい者(児)の心豊かな暮らし」、「社会が障がいの有無に係わらず相互に人格と個性を尊重し合う共生社会」の現実を目標に活動しています。

その目標の下、知的に障がいのある人の自立と社会参加を推進するため、育成会文化祭り、沖縄県ゆうあいスポーツ大会、研修会、本人活動支援事業等多く事業に取り組んでおります。

当会の趣旨にご賛同いただき、活動の資金的なご支援をお願い申し上げます。

★賛助会員 個人: 1口 千円

★特別会員 企業・団体: 1口 5千円

★琉球銀行・石嶺支店(普) 444100

★沖縄銀行・石嶺支店(普) 1521721

♪連絡先: 沖縄県手をつなぐ育成会

TEL 098(882) 5727

♪申込書は県育成会HPからもダウンロード可能です。是非ご利用下さい。